



イマジン
ロータリー

RI 会長：ジェニファー・ジョーンズ

2620 地区ガバナー：浅原 諒蔵

会長：山城 一哲 幹事：栗原 伸夫 会場監督：植山 和人

例会：毎週金曜日 19:00 - 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2023年1月20日(金) 晴 第1608回例会 週報 NO. 21

司会：植山 和人 会場監督
点鐘：山城 一哲 会長
ロータリーソング「我らの生業」
「四つのテスト」唱和
木村 嘉代子さん

ゲスト

浜松開誠館中学校・高等学校
校長 高橋 千広様
広報課長 伊藤 信博様

会長挨拶



本日は浜松開誠館中学校・高等学校の高橋千広様をお迎えしています。佐々木さんよりご紹介があると思いますが、SDG's とのつながりがあるということでこれから参考にさせていただきたいと思います。「これからの教育」というテーマでお話をさせていただきます。子供を取り巻く問題について、不登校、いじめ、校内暴力、貧困、児童虐待など大変複雑化多様化しています。その中で何を学ぶかではなく、どのように学ぶか、学び方が変わっていると聞きます。

先ほど新会員の佐野さんにロータリーやわがクラブの歴史についてオリエンテーションを行いました。来週は2回目のオリエンテーションがあります。定款・細則や委員会活動について副会長のお二人からご説明頂きます。

1月28日には新クラブの認証伝達式があり、会長幹事2名で出席してきます。

幹事報告



- ・配布資料・・・ロータリーの友 会費請求書/R 財団寄付領収書
- ・回覧・・・Rotary 誌/ガバナー月信/オイスカからの札状
- ・例会終了後理事会があります
- ・次週は岩田会員の卓話です。

奨学金贈呈

*グエン カオ キさん



米山記念奨学会表彰

*米山功労者・・・木村 嘉代子さん
(米山特別寄付累計 10 万円ごと)



*第14回米山功労クラブ表彰

特別寄付累計 100 万円ごとに感謝状が贈られます。

地区委員委嘱状

*川井啓介さん



2023-2024 年度地区奉仕活動委員

スマイル

♪山城一哲さん、栗原伸夫さん

本日は浜松開誠館中学校・高等学校の高橋様にお話を伺います。どうぞよろしくお願い致します。PTA 会長の佐々木さん、ご手配いただき、ありがとうございます。



♪佐々木雄二さん

今年初の例会参加です。今年もよろしくお願いします。

当クラブも若返りもあり、これから改革が必要不可欠の中、浜松開誠館で日々改革に挑戦されている高橋校長が考えるこれからの時代を担う子どもたちに必要とされる教育についてお話をいただきます。よろしくお願いします。



♪中村将義さん

コロナ感染拡大第8波ということで飲食店も大変な状況です。今回は愛管のレストラン4店舗で使えるポイントカードを作りました。ぜひご利用ください。

後期新会員募集もご協力お願いします。



卓話

「これからの教育について」

ゲスト紹介：佐々木雄二 副会長

平成31年より第15代校長に就任しこの4年間いろいろな改革をされています。



教育では今の社会に合わせた人材が求められます。平成30年は上位50位の中に30社あった日本企業が、2022年にはトヨタ1社だけです。そのトヨタも脱炭素においては最下位ということで世界から批判を受けている状況です。

そして日本の子供の自己肯定感、世界先進国の中で最下位にあるという現状です。社会情勢を考えたときに、文科省は学習指導要領の改訂という作戦に出ました。以前は何ができるようになったかが重視でしたが、今はどう社会、世界と関わるか、世界を意識した教育にかかりました。また、何を知って、できることをどう使うのか。

これまでの知識偏重の教育ではなく、知識を主体的に使い、考え、どう行動するか。学習評価の改善も行われます。これまで慣行としていたことも見直して変えていく。今まで4つの観点でしたが3つになり、高校も3観点で評価をするようになりました。重きを置くのは主体的に学習に取り組む態度。今までは定期テストと評価は比例していたのですが、テストの点だけで評価はできなくなりました。

この時期校長になった私はどうしていくのか、未来に生きる子供たちに何が必要か。現実とのギャップです。現実には入試がありますから点数で切ることもある。でも点数による評価をやめなければ、子どもたちは変わらないだろう。子どもの心の解放とグローバル化を目指すことを考えました。

まずユネスコスクールにしたい。持続可能な社会をめざして環境教育を行う。やっと実績が認められ、今年度認定を受けました。定期テストの廃止。学ぶ根本はみんな考えて。教えない学校。4・5月に教師は何も手を貸さないで、なぜ学ぶのか、将来を考える。全員担任制。校則検討。行事は何のためか。生徒主体の行事を実施する。教員の合言葉として、教員は答えを言いたいけれど生徒に考えてもらう。

今教育の責任は本当に大きいと思います。この4年で生徒が前向きになり、真の文武両道を目指したい・・・運動部だけでなく文化部も全国大会に出場して活躍してきています。様々な分野で一人一人の生徒が生き生きのびのび過ごせるようになってきたと思います。何が要因で変わってきたのか検証しないといけないと思いますが、生徒が変わってきたのは教員の指導あってのことなので感謝しています。理事長も私の背中を押してくれるので、周りに感謝しながら子供たちの未来の教育に向かって進めています。Well-Beingと心の知能指数がこれからの課題です。幸せを感じることができる、心豊かな地球市民をはぐくむ。「私は私を肯定する」と笑顔になれる学校を目指します。

広報課長 伊藤 信博様



開誠館は来年100年になります。ICT教育を推進しており、難関私大や国公立を目指すスーパー文理コース、海外を目指すグローバルコース、部活と勉強の両立を目指す進学コースの3つのコースがあります。

未来を育む教育ということで、知る・考える・行動する。依存的ではない主体的な学習者を育成しています。生徒会主催の私服登校できるカジュアルデー。放課後予備校では、やらされるのではなく自分から足を運んで学習しています。定期テストの廃止の結果、学ぶ意味・喜びを感じて自分から質問してくる生徒が増えています。主体的な取り組みが実を結び小泉前環境大臣から表彰されました。本校を訪れ講演もしていただきました。子供たちが地球の温暖化がどうやったら止まるのか考え、その活動が認められ、社会を変える原動力になったということで自信をつけることができました。

開誠館は部活動が有名です。一般の生徒も純粋に応援できる人間関係が構築できているのを感じます。文化部も全国で活躍できるような土壌が育ってきました。町で開誠館の生徒を見たら表情を見てください。周りに小中学生がいたら、本校をご紹介します。

出席報告

発表：川合広高 出席副委員長

会員数	43名
出席者数	23名
出席算定会員数	35名
出席率	65.11%

前々回出席者数
32名
修正出席率
91.89%

